



# 調布 狛江 保護司会だより

No. 41

発行責任者

調布狛江保護司会  
会長 嶋志田 守久

※更生保護キャラクター“サラちゃん”と“ホゴちゃん” FC東京マスコットキャラクター“東京ドロンパ”（4面に記事あり）



## 調布・狛江保護司会への期待

東京保護観察所立川支部

支部長 柴田 由佳

調布・狛江地区保護司会の皆様におかれましては、平素から地域における更生保護の諸活動にご尽力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、調布・狛江地区といえば「社会参加活動」です。私も神代農場の活動に参加させていただきました。梅雨入り間近の六月初旬ですが、「これまで一度も降られたことはありません」とのこと。二十年以上続いている活動だけに保護司さんの手際の良さ、少年達への声かけのタイミングの良さには感服いたしました。そして楽しい昼食の時間。地元の保護司さんの丹精込めた新鮮な野菜が更女さんの手により、ボリニーム満点のカレシ、色とりどりの美しいサラダになってテーブルに並びました。少年達の気持ちのいい食べっぷりに私もうれしくなりました。少年も保護司さんも更女さんもBBSも分け隔て無く、一緒に作業に汗を流し、テーブルを囲む光景は、心温まるものがありました。

犯罪件数が減少する一方で、一度で懲りることなく犯罪を繰り返す人がいることが問題となっております。また、目を覆いたくなるような痛ましい事件が相次いで報道されるたびに罪を犯した人への視線は厳しくなる一方ですが、「これで最後にしよう。やり直そう」と誓った人達を地域の一員として受け入れ、見守ることが再犯を防ぎます。社会参加活動で垣間見た保護司さんと少年のごく自然なやりとりは、「社会を明るくする運動」に込められたメッセージを象徴するものでした。

これからも調布・狛江地区保護司会のチームワーク、機動力を存分に発揮していただき、引き続き再犯防止にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



### 地域別定例研修第1期の開催

六月七日 一五時  
調布市総合福祉センター二階

研修テーマは、「良好措置・不良措置」。保護観察対象者の改善更生が進んで、保護観察を継続する必要性がなくなったと認められるときに、保護観察を中断させたり、終了させるための「良好措置」。逆に、改善が進まず、もはや社会内では改善更生を図ることが困難であり、少年院や刑務所に収容して矯正教育を受けさせることなどが必要であると判断し、措置を講じる「不良措置」。

要件や措置の効果を整理し、保護司の処遇における留意点について理解を深めることを目的に、作間主任官より、担当された経験などに触れながら講義が進む、大変内容の濃い研修となりました。

また、保護司から少年に対して解除経過期間となる一年が近づいてくると、もうすぐ解除になると励ましている話を時々聞くが、保護司に話していない交通事故や事件が発覚して解除にならないことがあるので、経過期間が一年に近づいてきても、解除になるとは言わないようにと指導がありました。毎月の報告書が、遵守事項違反の事実を明らかにするための重要な資料となることを改めて認識しました。

### 調布分区自主研修の開催

九月四日 一五時  
調布市 たづくり映像シアター

白百合女子大学の宮本信也教授を講師に迎え「発達障害の理解と対応」ー愛着問題も含めてーをテーマに関係諸団体の方にも出席いただき自主研修を開催した。

発達障害はかつて発達に遅れがあると捉えられていたが、比較的最近になって遅れない発達障害があることが提起されるようになった。発達の遅れなどの特徴がある発達障害は、できないという形で現れ、遅れない発達障害は行動問題として現れる。

ADS(自閉症)の人は体験の中で創りあげていく言語の共通イメージを創ることできない。私たちの日常会話は多くの省略がありそれを文脈で補っているが、自閉症の人は文脈から想像することができない。相手がどのようにでもとれるような言葉は使わず、特定できる言葉を使うなどの工夫で会話は成り立つ。自閉症の人との会話の落とし穴は伝えたつもりが伝わっていないところにある。

保護観察の場合、遵守事項は伝えるも伝わっていない。具体的に伝えなければならぬ。

ADHD(注意欠如・多動症)は不注意・多動性・衝動性・時間感覚問題とい

う特徴がある。

集中のコントロール問題で、興味のあるものに対しては過集中にもなる。またADHDの人は報酬の時間割引が大きい。報酬を待たせず、小さな成果を用意するといふ。

行動の問題が多いADHD児ではADSとの併存に注意し、両方への配慮が必要である。

愛着障害(子供虐待)は、対人関係を力関係で維持する傾向があり、被害意識の増大、不満を背景とする攻撃衝動を生じやすい。発達障害は衝動性や独善性・被害的思考など攻撃衝動の抑制を減少させる。しかし、適切な対応で防ぐことはできる。

発達障害に対する薬剤も五種類承認されている。

保護観察においても発達障害特性を理解し適切な対応が必要である。

### 調布市民生児童委員協議会と調布保護司会の連絡協議会

八月二十九日 一六時  
調布市総合福祉センター六階

調布市民生児童委員協議会

会長 小川 時雄

本年度は「フードドライブ・子ども食堂」をテーマに学習会を開催した。民生委員より各地区会長・副会長二名、保護司会より一四名、事務局四名が参加。両組織共に「子どもの貧困」に対する問題は、喫緊の重要な課題と捉えている。

一人目の講師、調布市社会福祉協議会 橋本浩幸氏より調布市のフードドライブの取り組みについて説明を受けた。フードドライブとは、頂き物や買い過ぎた物など、家庭に余っている食べ物を持ち寄り、福祉団体や施設などに寄付するボランティア活動。

二人目の講師、「子ども食堂かくしようじ」を運営されている小林孝保護司より、子ども食堂の運営状況が報告された。覚證寺 細川住職の絶大な協力と、スタッフの極め細やかな援助のもと、月二回開催されている。

現在、市内では四カ所の子どもの食堂が展開されている。私たちは子どもの貧困に目を向け、フードドライブの活動に協力していきたいと思う。





### 大和・綾瀬更生保護 サポートセンター視察

鴨志田会長と広報部員四名で、小田急大和駅から徒歩一〇分の市民活動拠点ベテルギウス北館二階にある『大和・綾瀬更生保護サポートセンター』を訪れました。田邊保護司会長、山田綾瀬地区会長を始め、合計七名の保護司の方々に迎えて頂き、二時間にわたり貴重なご意見を伺いました。

センターは二三坪ほどでテーブル、椅子(市から無償貸与)のほか、パソコン、コピー機、ファックス、電話(保護司会購入)が備え付けられています。保護司会員の中でセンター不要論が多数を占める中、保護司の活動拠点を設ける必要性を訴えて設置にこぎつけたそうです。平成二八年『サポートセンター検討委員会』を保護司計一六名で立ち上げましたが、最大の問題はセンターの設置場所でした。大和地区は保護司四五名、綾瀬地区は二四名です。



結局、大和市に設置されましたが、綾瀬市には保護司会が優先して面接室として使える『相談室』を市役所内に確保することができました。

委員会で検討を重ね、横浜保護観察所に設置指定要望書を提出すると同時に、保護司全員に対して説明会を開催、さらに翌一九九年にはセンターの運営を検討する『開設検討委員会』を立ち上げ、センターに配置する保護司(企画調整保護司)の人数、業務などの具体的な課題を検討し、平成三〇年四月、センターは開所しました。

開設検討委員会での最大の課題は予算でした。国の予算は年間約三〇万円ですが、初年度は半額の一五万円しか支給されません。このため保護司会独自に予算を組んでコピー機、パソコン等の購入費に当てました。なお、施設使用料、水道光熱費は大和市の施設であり無料ですが、電話、ファックス、パソコン等の通信費は保護司会で負担しています。

センターは月、火、木、金の週四日、午前九時三〇分から午後四時まで開所します。企画調整保護司をサポートセンター長を含めて一八名置き、一人の企画調整保護司は月二回、一日三時間半のセンター駐在を行うこととし、保護司の負担を軽減しています。

大和市、綾瀬市ともに保護司会の活動に理解があり、事務局を担当して頂いています。センター開所後も、従来か

ら市役所事務局が担当していた事務は引続き担当をお願いし、センターの設置によって新たに生まれた事務のみをセンターで担当しているそうです。

最後に、田邊保護司会長は、サポートセンターは保護司の活動拠点とし、また関係機関との連絡調整の場として意義が大きいことを強調されました。



### 狛江分区管外研修

八月二十九日～三〇日  
秋田刑務所

西山 均

秋田は私の仕事(橋梁設計)で頻繁に訪れていた懐かしい場所です。東日本大震災のときも、市内のホテル一三階でした。そんな秋田の刑務所を視察できる・・・、感慨深く感じました。

庶務課長の鈴木様に施設をご案内いただきました。現在、約四三〇名の収容があり、実刑期一〇年未満の男子を収容、再犯が多く、平均受刑数は

四・八回で、最も多くは二一回とのことでした。

夜は市内の秋田温泉「さとみ」に泊まりました。温泉の質はぬるぬるしていて、塩分がありました。あがろうとしたとき、たくさんの浅黒い若者が・・・、聞けばフイージーのラグビー中学生代表チームとのことでした。翌日は大荒れで明け方には滝のような雨が、でもバス出発後は弱くなりました。話題の金足農業高校正門の前では、高校生たちが手を振ってくれました。男鹿では「なまはげ館」で実演を。角館武家屋敷を見て戻ってまいりました。

秋田刑務所の視察、おいしい食べ物とお酒をいただき、皆様との交流を深めることができた大変有意義な視察でした。





# 明るくする運動



## 味の素スタジアム PR

8月5日 FC東京vsヴィッセル神戸戦



## 推進大会とコンサート

7月16日 狛江市民ホール（エコルマホール）



### 中学生啓発標語優秀作品

(768人から868編の作品の応募)

あなたから 広げていこうよ笑顔の輪

第一中学校 3年 笠原 彩

「一人じゃないよ」 みんながあなたのサポーター

第二中学校 2年 山本恵里奈

「こんにちは」 明るい未来を 狛江から

第二中学校 3年 大野想二郎

優しさと 輝く笑顔は 必需品

第三中学校 1年 中村 希実

「ありがとう」 広がる笑顔と やさしい気持ち

第四中学校 2年 久保田響輝





# 第68回

# 社会を

## 駅頭PR活動

7月2日 調布市内各駅・狛江駅



## 中学生意見発表会

7月21日 調布市文化会館たづくり 大会議場



言葉に恐れ、言葉を発する  
 思いやりの心とおもてなしの精神  
 あなたが世界と生きていくために  
 嫌いな人を好きに変える方法  
 よりよい神代中を目指して  
 今の気持ちか 将来のことが  
 変わることでできる社会  
 憲法違反  
 コミュニケーションの能力の低下に伴う自殺問題  
 Home  
 未来のために生きている

- |             |    |       |     |
|-------------|----|-------|-----|
| 桐朋女子中学校     | 2年 | 垣立    | 華   |
| 第三中学校       | 2年 | 杉本    | 礼奈  |
| 第六中学校       | 2年 | 渡辺    | 千聖  |
| 明治大学附属明治中学校 | 1年 | 荻野隼之介 |     |
| 神代中学校       | 3年 | 内田    | 武蔵  |
| 第七中学校       | 3年 | 小久保   | 遼   |
| 第四中学校       | 2年 | 山内    | 滉太  |
| 第五中学校       | 3年 | 齊藤    | うらら |
| 調布中学校       | 3年 | 中間    | 音羽  |
| 晃華学園中学校     | 3年 | 懸     | 七海  |
| 第八中学校       | 3年 | 大木    | 美穂  |



## 神代農場社会参加活動

六月三日 九時三十分〜

地域活動部 杉本 操

保護司になり、深大寺社会参加活動に続いて二回目の社会参加活動に参加させて頂きました。「虹鱒釣り」に始まり、昼食をみんなで午後は「竹垣造り」を行いました。普段、経験出来ない作業もあり、対象者の少年達にとつては興味深い体験だったのではないのでしょうか。

昼食には、自分達で釣った虹鱒を焼いて頂いて、美味しそうに何匹も食べている姿も見えました。

竹垣造りでは、杭の打ち込み、竹への釘の打ち込み作業に悪戦苦闘しながらも、楽しそうにしている姿を見ると「やつぱり、まだ子供なんだなあ」と感じました。

前回も感じましたが、この活動を通して多くの人達との「出会い」や「コミュニケーション」が、彼らの今後の社会復帰の手助けの一つになればと改めて感じました。



### 参加対象者の感想

特に印象に残った活動は？

○虹鱒釣り

・今までで一番多く釣れたこと。

・十三匹釣れて楽しかった。

・ふだんやらないから。

○食事、調理

・BBSの人に「上手い」と褒めてもらったこと。

・さばき方を覚えたこと。

○竹垣作り

・やり甲斐を感じた。

・くい打ちを初めてしたこと。

活動に参加して感じたことは？

・久しぶりにきちんと自然と向きあつたので、心が洗われるような感覚を味わうことができた。暑かったこともありきつい仕事も多かったが、いろんな人と触れ合え、普段は経験できないことを経験することができたことが楽しかった。今後このような活動に精一杯向き合っていきたいと思っている。

・普段あまり自然にふれ合わないので良い体験が出来ました。魚をさばく事も普段できないので出来てよかったです。活動の準備をして下さってありがとうございました。

・本当は友達と遊びをしたかったけどふだんやらない事をして色々楽しかった。



### 千代田区保護司会の感想

池田 憲泰

今回、私共は六名で参加させていただきました。地域活動部長の指揮のもと担当が決まり、私共は虹鱒釣り、調理、竹垣作りを経験させていただきました。私共の保護司会には対象者が少ないため、社会参加活動はまだ有りませんが非常に参考になりました。

昼食は手作りのカレーの他、沢山本当に美味しく頂き厚く御礼申し上げます。

午後からは竹垣作りを見学し、対象者も一生懸命に作業をしている姿に目を引かれました。すべてが怪我も無く進行し、貴重な一日を過ごす事が出来ました。

私共保護司会も引続き、このような交流を続けていただきますようお願いとともに、貴保護司会の益々のご発展を念じております。



### 白百合女子大学生の感想

坂本健教授のゼミより、六名のゼミ生、ご家族一名に参加いただきました。

○私は今まで、少年達と直接関わったり、自分で釣った魚を自らの手で調理し、食したことがなかった為、とても貴重な経験となりました。

この一日を通して、少年達の心の純真さ並びに、食の有難さについて改めて学ぶことが出来たように思います。そして、この様に参加者全員が糧となる経験をすることができるところに今回のイベントの魅力を感じました。これからも、なにかしらの形で青年達と関わることができればと思います。



○保護司の方をはじめ、活動を支える大勢の皆さんに見守られている対象者の少年達に初めて出会いました。虹鱒釣りを一緒に体験し、助け合い、自然と会話が出来るとても楽しい時間を過ごすことが出来ました。テーブルには育てた花が飾られ、自分たちで釣って焼いた虹鱒、手作り野菜入りのカレーライスを囲む昼食は、優しさやぬくもりで溢れていました。こうした何気ない喜びを感じることや、信頼出来る大人がいる安心感は、彼らにとってもとても大切であり、大きな支えとなっていると感じました。人は環境で育つと言われています。人との出会いでさまざまなことを感じ、自分で考える力が育つ私にとっても貴重な経験となりました。

○今までボランティア活動に参加したことが殆どなかった為少し緊張もあり、又少年院を出た方や保護司の方がどんな方なのか等現地に行く道中色々考えていました。実際に活動をしてみて今思い返してみても、楽しかったの言葉に尽きます。保護司の方が優しく、そして楽しくなるように声を掛けてくださいました。虹鱒もそうだし昼食に使う食料、敷物、道具やお花等それぞれが持ち寄って皆の為に提供し合っているというのが、一丸となって活動を行おうとしているのだなと感じました。私は魚釣りをするのは初めてだったの

ですが、保護司の方が丁寧に教えてくださいました。少年も元気な子ばかりで、魚釣りも楽しんでいました。虹鱒を焼く前に竹串で通す作業もしたのですが、少年は竹串が虹鱒に通る感触を不思議そうにしていたのが印象的でした。

普段の生活では経験の出来ない事なので充実した時間を過ごせました。



### 桐友会だより

飯塚靖子

五月二三日 調布狛江地区桐友会総会が開催され、新たな会長に白井貞治さん、副会長に高木光さんが承認されました。

本年度行事として、健康講座を予定しています。テーマは検討中ですが昨年同様、西田伸一先生にお願いしています。多くのご参加をお待ちします。

また、九月五日に開催された、東京桐友会総会には五名が参加しました。

### 更生保護女性会だより

富永淑子

更生保護女性会は、男性・女性会員合わせて三四〇人から成り立っています。主な活動は、春と秋の社会参加活動での食事。美味しいとおかわりしてもらえる事はとても励みになります。夏には、愛光学園の七夕祭りの浴衣の着付け。盆踊りを踊る少女たちの嬉しそうなお顔は、暑さも忘れさせてくれます。関東医療少年院や愛光の運動会・卒業式など様々な行事にも参加します。秋はバスで施設見学、ミニ集会では身近なテーマで楽しみます。年末に行う福祉まつりでは、手作り品も並び楽しみの一つです。

### BBS会だより

田中美和子

昨年十月にBBSに入会させていただきました。二ヶ月に一回、愛光女子学園にて行われているレクリエーション活動、昨年十二月の深大寺社会参加活動、今年六月の神代農場社会参加活動に参加させていただいております。社会参加活動では対象者は一生懸命に作業をしており、私達も対象者と色々話をしながら一緒に楽しく関わらせていただきました。

社会参加活動には学生の方も参加してくださっており、新たな会員の募集にも力を入れてつつ活動の場をさらに広げていきたいと思っております。

今後ともご支援の程、宜しくお願い致します。





### 春の叙勲



旭日双光章  
石黒 實

ご受章おめでとうございます

### 新任保護司のご紹介

平成三〇年 九月一日委嘱



調布分区  
小泉 信一

### 保護司会の今後の予定

- 一〇月一〇日 地域別定例研修第Ⅱ期
- 一〇月三十一日 第七ブロック 保護司組織運営連絡協議会
- 一〇月二十九日 地区管外研修
- 一〇月二十八日 更生保護事業関係者顕彰式典
- 一〇月二日 調布市福祉バザー
- 一〇月九日 深大寺社会参加活動
- 一〇月一日 新年会
- 一〇月三十一日 多摩連保護司全体研修
- 一〇月一日 調布分区自主研修

### 総会報告

二月 七日

地域別定例研修第Ⅲ期

#### 狛江分区総会

日時 四月 九日 午後三時

場所 狛江市役所 四階特別会議室

#### 調布分区総会

日時 四月一三日 午後三時

場所 グリーンホール 小ホール

#### 調布・狛江地区総会

日時 四月二六日 午後三時

会場 グリーンホール 小ホール

### あとがき

須田 啓文

『このたびの西日本での豪雨災害等により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。』

一日も早い復旧をお祈り申し上げます。』

東日本大震災や熊本地震などの傷もいえないのに、今年七月には西日本を中心とした 豪雨災害。今年の中学生サッカー教室も、台風接近のため中止となりました。

時おり私たちに牙をむく恐ろしい自然ですが、共存していかなくてはなりません。

### 退任

平成三〇年 八月三十一日 退任

土屋 邦子 (調布分区)

土方 長久 (調布分区)

馬部 久夫 (調布分区)

大林 孝男 (調布分区)

永年にわたるご活躍

ありがとうございます



簡単なことではありませんが、私たち人間も自然の一部と謙虚に受け止める危機管理をし、自然と共生していかないとはいけません。

年々厳しさが増している日本の夏。この号がお手元に届くころには、さわやかな秋風が心地よい季節となっているでしょう。

多くの皆様のおかげで発行できました。感謝申し上げます。



神代農場社会参加活動にて

### 広報(編集)部員

部長	矢辺 良子	伊藤 知弘
副部長	柿澤 正夫	鈴木 久美子
副部長	三角 武久	林田 堯瞬
書記	栗山 剛	愛甲 悦子
書記	鈴木 宗貴	須田 啓文
会計	井上 喜一	
会計	酒井 淳	